

「すばらしい生き方」と「自分の可能性」との出会いを！



安芸太田中学校通信

～ 未来を創る人づくり ～

平成29年度 第8号

<平成29年12月5日>
安芸太田町立安芸太田中学校
文責 教頭 金田 順史
TEL (0826) 32-2244
FAX (0826) 32-2987
E-mail akiotachu@gakko.akiota.jp

～ 学びを地域にひらく ～ 『学び』を『生き方』につなぐ教育の創造...地域の中での協働的な体験活動
地域社会の課題を直視し、解決に取り組む子供たちを育てる!!

県内最少の人口ながら、豊かな自然と人情味あふれる安芸太田町の未来を創る人づくり...地域社会に貢献できる人・地域の課題に向き合い解決に向けて取り組む人づくりとして、地域の人たちとの協働的な体験活動・地域の人とのふれあい活動等を各学年とも『総合的な学習の時間』で1年間のシリーズ活動として実施しています!

1年	<<地域の魅力再発見・ふれあい活動>> (地域の魅力・課題発見) 安芸太田町魅力紹介 しわいマツボランティア ⇒ 福祉施設訪問 ⇒ ふるさとまつりボランティア ⇒ 三段峡散策 ⇒ ポスター制作・配布 (3学期)
2年	<<地域の魅力体験・発信活動>> (地域の魅力発信・課題探究) 道の駅・本通り特産物販売体験・PR活動 鮎の稚魚放流体験 ⇒ 職場体験 ⇒ 祇園坊柿収穫体験 ⇒ <<あきんど体験>> (3学期)
3年	<<地域の魅力発信活動>> (課題解決策の発信・提案) 安芸太田町・広島県全域・行政アピール 安芸太田町紹介プロモーションビデオ制作 ⇒ HPでの映像発信・DVD配布 (3学期)
全校	<<地域に元気を届ける活動>> (地域活性) 龍頭峡祭ボランティアスタッフ ⇒ 戸河内ふれあいまつりダンス発表 ⇒ 筒賀ふるさとまつりダンス発表

課題発見・探究・解決活動
<1学期～2学期>

地域公開
<11月:中間報告>

発信活動
<3学期>

つつがふるさとまつり
11月12日(日)

安芸太田中ダンスチーム
生徒が振付を考えたダンスで会場を沸かせました。



地域の課題が見えた…少子高齢化の影響

小学校の頃は地域の行事に参加しても、遊ぶことや食べ物などをかう楽しみだけを考えていた気がします。今回のボランティアスタッフ活動をして、行事の企画や準備する大変さを少しわかった気がします。行事を実施するための人がだんだん不足し、行事を続けることが難しくなっていることも知りました。少子高齢化の影響がこんなところにも出ていると思いました。

つつがふるさとまつりにボランティアスタッフとして参加

1年・たんぼぼ学級の14名が司会やイベント補助、販売活動を行いました。最初こそ緊張や恥ずかしさがあり、声もなかなか出ませんでした。慣れるにつれ大きな声も出るようになり、活発に活動しました。

たんぽぽ学級作製 天然くるみキーホルダー 岸田文雄 元外務大臣の手に！



ふるさとへのぬくもりを届けたい！

筒賀地域の住民の方が、春に天然のクルミの実をたんぽぽ学級にたくさん届けてくださいました。

そのクルミを使って、職業家庭科の授業でキーホルダーを作って、ふるさとまつりで販売しました。

キーホルダーを買ってくださった安芸太田町の方が東京に行かれた際、岸田元外務大臣に安芸太田町のお土産として渡してくださいました。

このくるみキーホルダーは、3学期に上殿の道の駅や広島市本通りのひろしま夢ぶらざで、安芸太田町特産物販売「あきんど体験」でも販売予定です。

まだ、たくさんあります。実物をご覧になりたい方は、安芸太田中たんぽぽ学級までご連絡ください。

11月は、平成29年度前期の学習活動の成果を地域へ発信しました。

ふるさとに私たちの元気を届けたい！

- ①11月 5日(日) 安芸太田町中学校合同文化祭
- ②11月11日(土) 安芸太田中学校地域公開

学校へ行こう週間関連行事



合同文化祭 テーマ 光星くこうせい
～安芸太田を輝かせる新星となれ！～

新たな伝統と歴史の幕開け！

戸河内中と筒賀中が、これまで受け継いできた和太鼓・田楽・神楽・ダンスを統合し、『未来を創る』を合言葉に新たな伝統く表現活動の創造に全校生徒で取り組みました。

○演奏内容をみんなで話し合いながら創り上げました。この文化祭で安芸太田中学校の新しい歴史の1ページを飾ることができました。
＜安芸太田清流太鼓リーダー 佐々木 颯太＞

○メンバー一人一人が自分のすべきことを考え、それを行動に移したことで、全員が自分自身を成長させることができました。
＜田楽リーダー 山根 良会＞

○一から自分たちで創り上げたダンスでした。文化祭で大きな拍手をもらった時には、達成感を感じることができました。
＜ダンスリーダー 河本 舞桜＞



ふるさとふれあい地域公開 【職員版】 校長だより No.14より
【安芸太田中の文化が生まれ 新しい伝統への歩み 시작했다！ 地域からの評価をいただいて！】

ふるさとふれあい 地域公開 《地域に支えられ 生かされている自分がある！》

●11月11日(土)、新生安芸太田中学校の地域公開(ふるさとふれあい地域公開)を開催しました。この公開は、本校の使命「地域社会に貢献できる生徒の育成」を意図して実施しました。その趣旨と内容を開会挨拶で述べましたので、紹介します。

【第1回ふるさとふれあい地域公開 開会の挨拶】(一部略)

「ふるさとふれあい地域公開」は、その名に込めた2つの目的があります。

○ひとつは、生徒たちとのふれあいをおして**本校の教育を地域の方々にも知ってもら**うことです。そのために午前中の授業公開とこれからの生徒発表を設定いたしました。

○二つ目は、生徒たちが地域の皆様とのふれあいを通して、今日の学びを生き方につなぐ、**ふるさとを考える機会とする**ということです。

本校の使命は、「地域社会に貢献できる生徒を育てる」と考えます。

そこで、その使命の実現に向け、教育目標を「学びを生き方につなぐ教育の創造」とし、すばらしい生き方と自分の可能性との出会いのある学習活動を展開してきました。

アユの放流体験、祇園坊柿収穫体験、郷土料理づくりなど地域の方々を先生として招いての学習活動を積極的に取り入れています。

また、地域の祭りや行事にダンスやボランティアスタッフとして参加するなど、地域の方々の協力を得ながら、**学びを地域に開いていく教育**を進めてきております。

1年生は安芸太田の自然や産業社会体験を通じた**地域の魅力・課題発見**

2年生は職場体験などを生かした地域特産品販売等の**地域の魅力発信**

そして、**3年生**は総まとめとして**地域課題の解決策**を映像化して**発信・提案**

安芸太田町の魅力と課題に関わる探究活動・解決活動を3年間を貫く軸として、教育課程を編成し、自分が生まれ育ったこの**町に貢献できる力**を育てていきたいと考えております。本日は、その学びの中間発表です。

地域の皆様がこの「ふるさとふれあい地域公開」を通じて本校の生徒たちを身近に感じていただきたいと思っております。

また、発表ごとに、皆様からいただくお言葉や評価は、生徒たちにとっては、とても大切な「生き方との出会い」となります。生徒たちに自信を与えたり、学びを生き方につなぐ貴重なきっかけともなります。

感じられた思いを生徒に伝えていただければ幸いです。

生徒の皆さん。今日は一方通行の発表、ワンウェイでなく地域の皆様からも皆さんに感じられた思いが返ってくるツーウェイの地域公開です。

地域の方からの想いや願いを感じとり、それらが皆さん**一人一人の生き方**につながっていく有意義な機会となることを願っています。



全校合唱 校歌・ふるさと



学年毎の学習発表
(中間発表)



＜新たな伝統の創造＞
戸河内中と筒賀中の伝統の融合
生徒の創造による表現活動

★ 地域に支えられ、生かされている自分がある。そのことへの感謝の思いが地域貢献を導いていく。
★ もっと地域を知り、もっと地域を身近に感じさせたい。そして、この町を担う人、未来を創る人づくりを進めたい。

＜文責 校長 近藤 毅＞

～ 学びを地域にひらく ～ 外部講師による本格的、専門的な指導
地域在住のプロや達人・名人など専門家を積極的に招いて!!

【 4月～11月の実践例紹介 】

- | | | | | |
|-------------------|--------------------|---------------------------|----------------------------|-------------------|
| 歯科講演会
(歯科医師) | マナー講座
(マナー専任講師) | キャリアガイダンス
(商工会) | 救急救命講習
(日赤専任講師) | 読み聞かせ
(図書館司書) |
| 大学訪問(修道大学・比治山大学) | | 加計高校留学生交流
(ハワイホノカア高校) | 広島文教女子大学の学生交流
(祇園坊スイーツ) | |
| 合唱指導<林 皐暉先生> | | 北別府 学・山崎隆造 野球教室 | | 郷土料理講習
(町食育推進) |
| 稚鮎放流体験<三段峡漁業協同組合> | | 祇園坊収穫体験<筒賀地域祇園坊栽培農家> | | |
| 湯崎 英彦 広島県知事との対談 | | 三段峡散策<NPO法人 三段峡-太田川流域研究会> | | |

平成29年度前期 学校教育目標『**学びを生き方につなぐ教育の創造**』の実現度

安芸太田中学校の教育活動の評価

(前期学校評価アンケート<10月実施>…保護者回答の集計)

A:よくあてはまる B:だいたいあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない
 < AとBの合計…肯定的評価, CとDの合計…否定的評価として集計 >

No	アンケート項目	肯定的	否定的
1	子どもは学校へ行くことを楽しみにしている。	74	26
2	全体として、生徒一人一人に学習内容を理解させるような分かりやすい授業である。	78	22
3	生徒に家庭学習の習慣をつける指導に取り組んでいる。	80	20
4	生徒や保護者にテストや学力調査等の結果、教科の成績について分かりやすく伝えている。	88	12
5	保護者へ進路に関する情報を分かりやすく伝えている。	78	22
6	いじめや体罰・セクハラなどなく、安心して通うことができるための取組を行っている。	90	10
7	地域行事への参加等の体験活動は、生徒の挑戦心や社会貢献意欲を育むことにつながっている。	84	16
8	地域活動への参加やボランティア活動の実施は、地域から評価を得ている。	74	26
9	生徒の生活習慣(三時刻固定など)が育つような指導に取り組んでいる。	82	18
10	学校の施設設備は整っている。	90	10
11	通学は安全にできている。	94	6
12	学校通信やホームページなどで学校の取組や生徒の様子について分かりやすく伝えている。	94	6
13	授業参観や保護者・地域住民参加の行事などを行い、様子のわかりやすい開かれた学校づくりに取り組んでいる。	84	16
14	学校は子どもや保護者の悩みや相談に適切に対応してくれる。	78	22
15	「なぜ学ぶのか」を理解させ、学びと生徒の生き方がつながる教育を行っている。	74	26
	平均	83	17

保護者満足度 ⇒ 83%!!

(前期学校評価アンケート<10月実施>…生徒回答の集計)

No	アンケート項目	肯定的	否定的
1	「3点固定」を実行している。 (朝起きる時刻、家庭学習を始める時刻、寝る時刻を決めて、それらの時間を守っている。)	68	32
2	自分にはよいところがあると思う。(自己肯定感)	63	37
3	自分のよさが周りに認められていると思う。(自己存在感)	60	40
4	何か 挑戦 していることがある。	84	16
5	日ごろの生活の中で 感動 することがある。	56	44
6	感謝 の気持ちをもって生活をしている。	84	16
7	学級・学校・地域の活動に 貢献 している。(地域貢献の意欲・態度)	70	30
8	先生は、授業を通してなぜ学ぶのか教えてくれている。(学ぶ意義)	72	28
9	悩みや困っていることなど、相談できる先生がいる。(信頼関係)	65	35
10	授業を通して生き方について考えることがある。(学びを生き方につなぐ)	72	28
	平均	70	30

保護者の本校教育への肯定感(満足度)は、平均83%と高いものの、自由記述には、生徒理解に基づく指導や教師と生徒の信頼関係づくりをより進めることへの要望が出ている。生徒の回答でも、信頼関係づくりは低い結果となっている。

生徒の自己肯定感・自己存在感の結果も否定的な回答が多い。
 生徒に自信を持たせ、意欲的な生活を送らせる指導や生徒と教師の信頼関係づくりが今後の課題である。